

令和4年度〈校長室だより〉NO.2

新中だより

令和4年5月 9日
新庄市立新庄中学校
連絡先 Tel.22-1555
文責 永井 康博

共越(きょうえつ)～共に乗り越え、深めろ絆！～

令和4年度の運動会が、4月29日(金)に行われました。

今年の運動会のテーマは、「共越(きょうえつ)～共に乗り越え、深めろ絆！～」です。このテーマは、学年の枠を越えて団結し、新庄中学校全体で絆を深められる運動会にしたいという思いを込め、実行委員会で定めたものです。

当日は、曇りで少し肌寒かったのですが、生徒たちは勝利を目指し本気で頑張ってくれました。生徒たちが一番時間をかけて作り上げてきたものは各組の応援合戦です。応援合戦は、ダンスや演舞、口上などで構成され、時間は6分以内。特に各組の幹部は、この6分のためにどれだけの時間と労力を使ってきたことか。ダンスや演舞の構成を考えたり、練習の体制を考えたり、本当に大変だったでしょう。幹部だけでなく3年生も1・2年生に指導したり模範演技をみせたりとても協力的でした。本番では、その成果をしっかりと発揮し、各組ともに素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。迫力があり、統制のとれたダンスや演舞は、生徒たちの熱い思いを感じ、心が熱くなりました。

その後の、徒競走や学年種目、団体種目も全員が全力で競技する姿を見てうれしく感じました。また、制限がある中での応援も気持ちが感じられ温かい気持ちになりました。

後半のリレー競技と長距離走は、組の代表選手によるものです。組のため、自分のために必死で走る姿、勝って喜ぶ姿や負けて悔しがる姿をみて感動しました。必死でやっているからこそ自然に出る喜びや悔しさ。もしかすると、長距離走では走りたくないのに組のために出場した人もいるのかもしれませんが、しかし、最後まで全力で走りきった。この経験が人間として大きく成長させてくれると信じています。

運動会テーマ「共越」には、しっかり迫ることができました。しかし、閉会宣言で三浦真菜さんが話をしたように、運動会では「より絆を深めるきっかけができた」にすぎません。この運動会をきっかけに、新庄中学校の仲間の絆をより深く、より強くしていきたいものです。

保護者の皆様、温かい応援ありがとうございました。

コロナ禍での3回目の運動会、声を出して応援したい気持ちをぐっと抑えて、祈るような気持ちで観戦いただいたのではないのでしょうか。寒い中、本当にありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。

見事でした、息の合った、迫力のある応援合戦



閉会宣言

運動会実行委員長 3年 三浦 真菜さん

皆さん、本日はお疲れ様でした。新中生全員が本気で取り組んできた運動会でした。楽しかったこと、勝ててうれしかったこともあると思います。一方で悔しい思いをした人もいるかもしれません。それは、皆さんが全力で運動会を行ったから生まれた感情です。運動会で得たのは勝利だけではないと思います。仲間と応援し、競技したことは皆さんの大切な思い出になるはずです。日々の学校生活では見ることのなかった仲間の新たな一面が、この運動会で見られたのではないのでしょうか。仲間のことを新たに知り、これからの学校生活でも、より絆を深めるきっかけができたと思います。皆さんの一つ一つの頑張りによって素晴らしい運動会にすることができました。これで、令和4年度新庄中学校運動会を閉会します。